

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	子どもの広場 桑名 児童発達支援		公表日		2026 年 2 月 26 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2		児童が落ち着いて過ごせるスペースの確保については、現在の環境では十分とは言えず改善が必要と考えている。当面は活動エリアの工夫や視覚的支援による環境調整を行い、より適切な支援空間の整備を進める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	異食や他害等のリスクがある児童に対しては、安全確保のためマンツーマンに近い形で職員を配置し事故防止を最優先としている。	重点的にケアが必要な児童がいる一方で他の児童への手厚い個別支援が十分に行き届いていない場面があることも課題として認識している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日の清掃・消毒を徹底し、清潔で感染症リスクの少ない環境を維持している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	日々の朝礼やミーティングを、単なる連絡事項の伝達に留めず、現場での気づきを共有する場として活用している。PDCAサイクルにおける「評価」や「改善」のプロセスにおいて、職員がその都度意見を出し合い、柔軟に支援方針へ反映できる体制を整えている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	定期的な保護者向け評価表により意向を把握し、その内容を朝礼等で共有・周している。職員全員で共通認識を持つことで、ニーズに即した適切な支援へと業務内容を見直すサイクルを確立している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	朝礼等を通じて職員からの意見や提案を積極的に把握し、業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	保護者アンケートを実施し、その結果を朝礼等で周知・共有することで業務改善に繋げている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	ガイドラインに基づいた支援プログラムを作成・公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	児童発達支援管理責任者を中心に、現場職員との密な情報共有を通じて計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	おめめ堂のツールやスケジュールボードを活用し、個々の特性に応じた支援と行動観察を行っている。ツールを通じたお子様との関わりから得られるアセスメント情報を朝礼等で都度共有し、適応行動の向上に向けた適切な環境設定と支援内容の検討を継続的に実施している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	現時点では十分な手厚さとは言えませんが、職員間の連携を強化し、優先順位を明確にした支援項目を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	朝礼等の場を通じてチーム全体で活動プログラムの検討・立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援開始前の朝礼において、支援内容や職員の役割についてその都度周知・共有を行っている。LINE WORKSによる情報共有と対面での確認を組み合わせチームとして適切な支援を提供できる体制を確保している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	終礼もしくは次営業日の朝礼にて、前日の支援内容や児童の様子、職員の関わり方について共有と振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	支援記録を日々記録し、その内容を朝礼等で共有することで、支援の検証と改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	(31は、事業所のみ回答)			職員配置等の状況に応じて専門的な助言を受ける機会を確保している。いただいたア		

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1	ドバイスは朝礼等で周知・共有し、組織全体の支援技術の向上に繋げている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		職員配置等の制約により、他施設との定期的な交流機会の確保には至っておらず、今後の重要課題として捉えている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	日頃の関わりの中で保護者様との対話を重視し、お子様の成長や課題についての意見交換を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	グループ内で「家族応援セミナー」を開催しており、保護者へ参加を呼びかけるとともに、関連する研修情報の提供を行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	児童発達支援計画の作成・更新時には、必ず保護者様に内容を提示し、詳細な説明を行った上で同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	定期的な面談に加え、日々のコミュニケーションを通じて家族支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	相談や申入れがあった際は、朝礼等で速やかに周知・共有を行い、組織として迅速かつ適切な対応を講じている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	現場の状況により、地域住民を直接招待する行事の開催には至っておりませんが、SNS等を活用して日々の活動を発信し、事業所の透明性を高めることで「地域に開かれた運営」に努めている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	事前に服薬や既往歴を確認、朝礼等を通じて全職員で情報を共有している。常に最新の健康状態を把握することで、安全な支援の提供と全職員による共通認識の維持を徹底している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1		
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	朝礼等での継続的な周知・共有により職員の安全意識を高めている。		

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		